

令和4年度市職員の給与・定員管理及び不祥事防止の取組状況の公表

人事課 ☎048(473)1120

市では「市民力でつくる 未来へ続くふるさと 志木市」の実現を目指し、行政運営の効率化を図るための志木市定員管理計画を策定しています。この計画を基本に、今後も限られた予算と人員の中で行政サービスを提供していきます。

歳出に占める人件費の割合は横ばい

令和4年度の歳出のうち、人件費は12.0%でした。

令和3年度も12.0%であったため、歳出に占める人件費の割合は前年度と比較して増減していません。

令和4年度人件費の状況(一般会計)			職員数の推移				
歳出額(A)	人件費(B)※	人件费率(B/A)	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度比
310億8千万円	37億3千6百万円	12.0%	職員数	388人	388人	397人	9人増

※市長、副市長、市議会議員の給料・報酬などを含む

市長の給料は県内で6番目に低い水準

志木市長の給料月額、さいたま市を除く県内39市の中で、34番目となっております。下から6番目に低い水準となっております。

(注)給与条例に基づく(特例条例などによる減額措置の影響額を除く)

特別職の報酬などの状況

役職名	給料月額
市長	868,000円
副市長	764,000円
教育長	722,000円

職員の平均給料月額は、304,000円

平均給料月額は、国家公務員を学歴別、経験年数別に区分し、その区分ごと平均給料と比較するラスパイレース指数とは異なり、各自治体が算定した平均給料であるため、職員の平均年齢による差があらわれます。

志木市の場合は、計画的な定員管理により、若い職員の割合が増えていることから、近隣市と比較して、職員の平均年齢は低く、平均給料月額は減少傾向にあります。

職員の給料月額と平均年齢の状況(一般行政職)				等級及び職制上の段階ごとの職員数(志木市)			
区分		平均給料月額	平均年齢	等級	等級別基準職務	人数(構成比)	職制上の段階
志木市		304,000円	40.9歳	1級	主事補・技師補の職務	38人(9.6%)	主事補級
近隣市	朝霞市	321,400円	42.3歳	2級	主事・技師の職務	81人(20.5%)	主事級
	新座市	300,200円	39.1歳	3級	主任の職務	85人(21.5%)	主任級
	和光市	316,800円	42.0歳	4級	主査の職務	85人(21.5%)	主査級
人口が同規模の市	蕨市	323,400円	41.3歳	5級	主幹の職務	33人(8.3%)	主幹級
	鶴ヶ島市	315,500円	41.9歳	6級	課長の職務	49人(12.4%)	課長級
				7級	次長・参事の職務	12人(3.0%)	次長級
				8級	部長の職務	13人(3.3%)	部長級

引用:令和5年度埼玉県下市職員の給料手当等の調査

ラスパイレース指数の推移

令和4年4月1日時点のラスパイレース指数※をみると、さいたま市を除く県内39市平均は100.1ポイントです。志木市は99.6ポイントで、さいたま市を除く県内39市の中で20番目であり、平均以下となっております。

※4月1日現在での国家公務員の平均給料月額を100とした場合の、地方公務員の給料の程度を指数で表すものです。

ラスパイレース指数の推移

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
志木市	99.3	98.5	99.6
朝霞市	101.6	100.8	100.7
新座市	100.7	99.7	99.6
和光市	99.5	99.9	100.8
県内市町村平均	99.0	98.7	99.8
県内市平均	100.0	99.7	100.1
埼玉県	101.4	101.0	100.7

不祥事防止に関する取り組み

公益通報制度の運用状況などを公表します。今後についても、職員一人ひとりの自覚を高め、不祥事防止のさらなる徹底を図ります。

公務員倫理(コンプライアンス)研修 …計1回

公益通報 …0件